

ひろば いきいき広場

平成25年7月12日

No. 14

枚方市子ども青少年課

電話 072-841-1221(代)

内線 3712, 3713

FAX 072-841-3039

アドレス:

kodosei@city.hirakata.osaka.jp

船橋校区 子どもいきいき広場

船橋校区子どもいきいき広場では、六月十五日の活動で「枚方市市民の森」に遠足に行きました。

児童四十三名十幼児三名、大人十二名十校長先生と現地まで徒歩で移動しました。車の往来や道路の横断など事故の無いよう、児童も大人もみんな声掛け合いながら気を付けました。市民の森に到着し、池を一回りしてしようぶ見学・鯉の餌やりを体験しました。



花しょうぶの開花がまばらであり、小さいやスイレンも咲いていました。児童には花より鯉の餌やりの方が楽しかったです。雲行きが怪しくなってきたので早めにお弁当タイムにしました。お弁当を頬張る笑顔が可愛かったです。食後は遊具めがけて猛ダッシュです。大縄とびのロープを回し始めると順番に並んで飛び始め、大人も交じって楽しいひと時を過ごしました。しばらくすると雨が降り始めましたがみんな気にせず夢中で遊んでいました。雨足が強くなったのでみんな雨宿りをしましたがびしょ濡れになるまで遊び回っている男の子もいました。徒歩で帰るのは無理と判断し、急遽サポーターの方々に車を手



配していただき、学校までピストン輸送、ご家庭からのお迎え等もあり全員無事に帰ることができました。突然のハプニングでしたが子どもたちの元気な姿と大人のみなさんの対応に助けられました。良い思い出になれば、と思っています。

平成二十五年 第一回

枚方子どもいきいき広場代表者会議

六月二十五日(火) 午後七時

枚方子どもいきいき広場も三年目を迎えました。各校区では活発に活動が行われています。

先日、各実施団体の代表者の方々による会議を開催しました。多くの代表者の方々に参加をいただいたこの会議では、子ども青少年課からの説明と参加者からの意見・質問がありました。子ども青少年課は、

- ①書類に関して、
- ②活動中の事故・保険について、
- ③夏季の活動等について、
- ④その他、情報交換について等の説明を行ないました。

②③の内容は、「いきいき広場」第十三号、第十四号(本号)に掲載しています。④の情報交換については、昨年度も行ないましたが、各校区からの情報を全体化します。

また、代表者の方々からいただいたご意見・ご質問は、子どもいきいき広場を運営する際の書類や費用・保険に関して等がありました。

これからもご意見等があればお寄せください。

蹉跎西校区

子どもいきいき広場



「さだ西いきいきひろば」の活動の中で一番人気のあるカレーライスの調理と会食について紹介いたします。

学校の裏の農園で、秋に植えた玉葱やジャガイモを子どもたち全員で収穫作業を行います。数に限りがあるため数グループに分かれ、一人2〜3個収穫したら次のグループと交代し、全員が土まみれになりながらも野菜収穫の楽しさを実感してもらえよう工夫しています。

収穫が終わり自分で収穫した野菜を持って家庭科室へ移動し、カレーライス作りにかかりました。低学年の子どもたちは、高学年の児童やサポーターの要領を聞きながら野菜やお肉の調理に一生懸命挑戦



ましたが、時間の経つのを忘れ最後まで楽しい雰囲気でした。

今後とも校区コミュニティ協議会や様々な講師の方々、サポーターの協力をいただきながら、色々な活動に取り組み、子どもたちと共に楽しく健全な児童育成の一助となれるよう努めてまいります。思っております。



しています。お待ちかねの全員揃っての昼食会では、自分で作ったカレーライスを「美味しい、美味しい」と嬉しそうに食べていました。お腹が空いていたのでしようかお代わりを要求する男の子が何人もいました。

昼食会が終わり、みんなが後片付けをして活動を終わりました。

自然災害・台風接近時の対応について

六月から日本に近づく台風が話題になっています。今年度も台風を心配する時節になりました。

「いきいき広場」は次のように対応します。

● 自然災害や火災等が発生し、小学校が休校になった場合は、「いきいき広場」の活動は中止になります。

● 台風接近時、大阪府全域又は、東部大阪あるいは枚方市に**暴風警報**が発表された場合は、次のようになります。

① 午前七時現在、暴風警報が発表されているときは「いきいき広場」の活動は中止とします。

② 午前七時から「いきいき広場」開始時刻までの間に、暴風警報が発表された場合も活動は中止とします。なお、登校した児童については直ちに下校の措置をとりますので、児童の帰路の安全確保のため保護者の皆様には、迎えに来ていただくようお願いいたします。

③ 活動中に暴風警報が発表された場合は、「いきいき広場」を中止いたします。この場合も児童については帰路の安全確保のため保護者の皆様には、迎えにきていただくようお願いいたします。②③いずれの場合も保護者の皆様には「いきいき広場」の活動を中止することを連絡し、迎え等を依頼するなど必要な措置（その間の児童の指導等）をとることとします。しかしながら、児童の人数が多くて連絡がままならないということも起こり得ますので、保護者の皆様には、ニュース等の報道には十分に注意していただくようお願いいたします。

なお、いずれの場合も、その後には暴風警報が解除されても「いきいき広場」はありません。

香里校区 子どもいきいき広場



香里ふれ愛・フリー・スクエアでは、子どもたちに、日頃、学校、家庭では体験できないようなことを体験してもらえようというプログラムを検討しています。香里校区では、地元にいけばな、茶道、フラワーアレンジメントを指導していただける先生がいらつしやるので、いけばな教室、茶道教室、フラワーアレンジメントをプログラムとして実施していきます。今回は、五月十八日に実施したいげばな教室の紹介です。講師は校区内にお住まいの嵯峨野御流 中西千里甫先生です。子どもたちにとつて聞きなれない難しい専門用語を

わかりやすく解説されるので、お話を聞きながら手順に沿って、上手にいきます。また、多くの地域の方がお手伝いしてくださる。

さるので参加者全員つまづくことなく二時間でいけることできました。最後は、先生に見ていただき直してもらって完成です。みなさん、びっくりにするぐらい上手にいかしてくれました。



光化学スモッグについて

光化学スモッグは、日差しが強い、気温が高い、風の弱い日に発生しやすくなります。特に、遠くの山や建物がいつもより見えにくいなど、もやのかかったような視界の悪い日には、十分注意してください。

なお、光化学スモッグ予報・注意報の発令は、五月から九月の夏期に集中して発生しています。

☆光化学スモッグ予報・注意報が発令された時には

- ・屋外での激しい運動や水泳は避け、屋内へ入ってください。
- ・目がチカチカしたり、のどが痛くなったときには、水道水で目をよく洗ったり、うがいをしてしぼく安静にしましょう。

アドバイザーの贈り物

四月から「枚方子どもいきいき広場」のアドバイザーとして担当校区を訪問させていただいています。

学校を訪問していると、子どもたちの元気な声でこちらまでも元気になってきます。

運動場や体育館・図書室などで工夫された活動が行われる中、子どもたちはみんな笑顔いっぱい「いきいき広場」を楽しんでいます。

一年生から六年生の子どもと一緒に縦の学年でもつながり、仲良く力を合わせて学校や家庭では日頃できないさまざまな体験をしています。プログラムによっては保護者の方の参加もあり、子どもたちとともに「いきいき広場」を楽しんでおられました。これからも保護者の方々のたくさん参加をお願いいたします。

「いきいき広場」を実施するにあたり、コーディネーターや地域の方々、NPOの方々の企画から準備、当日までの取り組みに感謝しています。子どもたちがいきいきと楽しく活動できるプログラムは何なのか、子どもたちの安全管理面はどう対応していくのかなど、日々いろいろ考えられている姿に心が温まります。

今後ともよろしくお願いいたします。

アドバイザー N

藤阪小 公式ルールの
ドッジボール



開成校区

枚方子どもいきいき広場

開成っ子パーク・かいパー

「キンボールを行いました!」

五月二十五日に体育館で低学年中心に五十名の子ども達が大きなボールを追いかけ最後には試合形式で熱い戦いでチームワークを学びました。まずは大きなゴムフーセンのお化けのような物に電動空気入れであつという間に大きく満タンになるところから子ども達ははしゃぎです。一・二年生と三・四年生と二つのグループに別かれて二つのボールをペアで転がすところから練習です。慣れたころ、次は四人でボールを宙に浮かせ、手で支えながら落ちないように保持させて歩く練習です。だんだん早く持ち運べるようになって、次は二人で運びます。(三・四年生グループのみ) 一時

間も経ちだんだん飽きてくるころ、四人で一人チームに別れま



大きいボールは新鮮さがあり、十二時ギリギリまで飽きないで行ない、時間が経つのが早く感じたかいパーでした。ニュースポーツはどんな取り入れて体験してもらいたいと思っていま

他校の方で興味がありましたらキンボール貸し出しますのでご連絡ください。

キンボール (KIN-BALL) は、1986年にカナダのマリオ・ドウマースによって生み出された屋内球技。キンボールの「キン」は英語の「キネスシス (kinesthesia)」の略で、「運動感覚」という意味。正式な競技名称はキンボールスポーツです。使用するボールは直径122cm、重さ1kg。ピンク、グレイ、ブラックの三チームで競う(各色のゼッケンを着用する)。一チーム四人で、ヒットチー



下から突き上げて宙に浮いたボールを追いかける姿はみんな真剣です。落ちるスピードが遅いことから意外にキャッチできません。野球やサッカーやミニバスケットと同じ球技の中でも

編集後記

ム的一名が、必ず「オムニキン」と言い、続いて「レシーブチームの色」(自チーム以外のどちらか)を大きな声でコールしてからヒットします。(OMNIKIN)は「すべての」という意味の英語 omnipresent と KIN を合わせた言葉) ヒットされたボールは指定された色のチームが床に落ちる前にレシーブして失敗したチーム以外の二チームに一点ずつが加算されるというルールです。

いきいき広場ではスポーツも多く取り入れられています。先日の活動日誌に次の記載がありました。参加人数二十三人を五台の卓球台に分かれてそれぞれ指導していただきました。ただピン球を好きなように打ち合うのではなく、ラケットの打つ向き、腕の振りなどきちんと基本を教えていただき、子どもたちも素直によく話を聞いて練習していました。(桜丘北小)

今日は野球。一年生の参加も多く、ルールもバツトも何もかも初めて扱う子どもたちです。最初はどこに向かって走るかも、バットの持ち方も、立ち方も、すべて初めて、皆、右往左往しながらも真っ赤な顔をして楽しそうでした。おじい様も孫のキャッチボールや試合に参加されて、頑張ってくださいました。(小倉小)

このように、地域在住でその競技に精通しておられる方々が専門の知識・技能等を駆使して、子どもたちを指導して下さいます。そこには、新たなことやその競技のノウハウを教えていただいて、より一層頑張る子どもたちの姿があります。子どもいきいき広場で子どもたちが元気よく活動する源の一つがここにもあるようです。保護者の皆様方も元気な子どもたちと一緒に活動に参加してください。お待ちしております。(U)